

科目名称	ビジネスコンピューティング				ビジネス・キャリア	(○)	オフィス情報	(○)	
英文科目名称	Business Computing				グローバル・コミュニケーション	()	医療事務・医療秘書	(○)	
科目コード	590149	授業形態	演習	単位数	2				
教員氏名	山本 浩貴		年次配当	2年次	前期	ホテル・観光	()	大学編入	()
実務経験教員担当	(有)・無		アクティブラーニング		有・(無)				
授業概要 及び授業方法	<p>近年のネット社会化、情報化、スピード経営化の進展は著しく、その結果情報分析による素早い経営への対処能力、データマイニングなどのデータ活用能力が企業人には要求されている。</p> <p>データマイニングとは、企業に大量に蓄積されるデータを解析し、その中に潜む相関関係やパターンなどを探し出す技術である。この講座では表計算ソフトを活用したデータマイニング能力、データ活用能力を、企業の主要なビジネスモデルをケーススタディとして学習しながら、ビジネス社会の実践力を養成する。</p> <p>*パソコン基礎演習Ⅱを履修した学生のみを対象とする。</p>								
関連する科目	パソコン基礎演習Ⅱ				卒業認定(学習成果)との関連	①③⑥			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション。復習と確認問題 2. COUNTIF、SUMIFによる高度な集計法。 3. VLOOKUPを使った絶対参照と相対参照。グラフの活用 4. データベースの活用事例1 5. データベースの活用事例2 6. ピボットテーブルによるデータ集計1 7. ピボットテーブルによるデータ集計2 8. ピボットテーブルの活用。ABC分析とパレート図 9. 販売計画と利益計画 10. 商品分析と市場分析 11. 損益分岐点管理 12. 企業におけるマーケティング分析問題 13. 検定対策問題1 14. 検定対策問題2 15. 検定対策問題3 								
授業時間外の 学 習	復習を重点的にすること。(2時間程度)								
授 業 の 到 達 目 標	操作だけでなく、販売管理、原価計算、利益管理などの実務知識も身につけ、卒業後実社会で活用できるレベルの実践的事務能力の養成を大きな目的としている。さらに実技能力として、日商PC検定試験データ活用3級・2級レベルを目指す。								
課題に対する フィードバック	課題に対するフィードバックは授業中に行う。				評価方法・基準	課題提出100%			
テ キ ス ト	別途指示する。								
参 考 書	授業の進度に応じて適宜紹介。								
備 考									